

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	小学校外国語活動指導助手配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 15 国際理解教育推進事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内小学校に在籍している児童			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 5・6年生児童
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内小学校に在籍する児童に外国語を学習しながら、外国の文化等に直接触れる機会を与える。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 外国語活動における児童の学習意欲
	③ そのために何をしましたか。 小学校外国語(英語)活動の実施にあたり、外国人講師を派遣し、言語や外国の文化に直接触れる学習を行っている。新学習指導要領では5、6年生の外国語活動が必修化されたことに伴い、年間35コマの外国語活動のうち、1学級あたり16コマに外国人講師を派遣している。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 講師派遣時間(コマ)数

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	1,507	1,547	1,507	
	成果指標	②の数値					
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	コマ	755	866	868		

3 経費	事業費		円	5,390,700	6,359,904	6,374,592	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	5,390,700	6,359,904	6,374,592	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.01	0.01	0.01	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	82,330	82,330	82,330		
事業費+人件費		円	5,473,030	6,442,234	6,456,922		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 学習指導要領の改訂に伴い、小学校5・6年生において外国語活動が必修化された。また、外国語に対する学習意欲を高めることを目的として、外国人講師(ネイティブティチャー)を活用している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	特になし

仕 事 の 内 容	小学校外国語活動指導助手配置事業			
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係 課長名 岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	学習指導要領に基づいた外国語活動を実施するためには、より一層児童の学習意欲を高め、学力向上を図る創意工夫が必要である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	外国人講師の派遣のみならず、適切な教材開発を行うことで、より効果的な外国語活動の実施が可能となる。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。			
	平成22年度契約からプロポーザル方式で事業者選定を実施した。今後事業者選定を実施して単価契約の見直しを図る必要がある。			
(3) 改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を維持する。		経 費	仕事の経費は維持する。